

会山行記録

通算山行NO	No. 276A	報告者	後藤隆徳
年 月 日	2004年4月10日(土)	2万5千円=守門岳・只見	
山 名	越後・浅草岳(1586m)	見	
体力度 = 3・普通 技術度 = 登山は3・普通 スキーは4・やや難しい 危険度 = この時期好天なら問題ない 自然度 = 良好 展望度 = 守門岳が素晴らしい			
<h2>越後の仲間と最高のスキー</h2>			
コースと タイム	9日 = 下土狩 13:00 - 小出 17:30 - 浅草山荘 20:00 (泊) 10日 = 起床 4:35 - 洞窟温泉 発 6:30 - 浅草岳 10:25 ~ 12:30 洞窟温泉 14:30 - 守門岳・二分 (泊)		
標 高 差	上り・洞窟温泉 ~ 浅草岳 = 約 1086m 下り・浅草岳 ~ 洞窟温泉 = 約 1200m (下りが多い)		
参 加 者 ひ と 言	CL・後藤隆徳(57) = 越後の仲間と交流出来て楽しく嬉しかった。それにしても、皆さんスキーは上手い。 加藤秀子(55) = 越後の雪山を越後の方と滑れてシアワセ~! 石塚千代(52) = 憧れの山を滑れました。良かった。 <b>*交流した「みちぐさハイキングクラブ」の皆様のご紹介・・・</b> 会員 磯部 剛(57) = 初めて会ったという感じがしない。いつもの山仲間が山頂で待っていたという雰囲気。静岡衆よ!これからよろしく。 会員 浅井 勝(50) = 守門岳・浅草岳をホームに冬は月10回のペースで山スキーを行う主です。 会員 田村真知子(54) = 一人で何処でも車を飛ばして行く行動力抜群の女性。酒も強い。山で「マチコ巻」をする。 桜井昭吉(70) = 魚沼山岳の草分け的な人で、まだ道のない平ヶ岳に深田さんを案内した。 田中六郎(62) = 定年退職後奥様の影響で山スキーに目覚める。連休は夫婦で鳥海山山スキーに参加した。 坂西徹朗(65) = 魚沼の山岳版画家として有名。(日本山岳会員) 山でスケッチを楽しむ。		

9日 = 松戸山翠会の千代さんと小出 IC で合流。千代さんとは10周年レセプション以来である。千代さんは明るい笑顔と大きなリュックで待っていた。

丁度、夕食の時間なので前回寄ったR252入り口の居酒屋に入る。フキトウのてん

ぶら、日本海の刺身を食し八海山を頂いた。大いに満足し叶津に向かう。途中にステキな(と言うより田舎風な)もんじゃ焼きの店があり、再び飲食。

しかし、事前の情報収集にもかかわらず、R252は末沢の先で除雪がなく、通行止めで叶津には行けない。(まあ、これは神様の思し召しで、結果的にはグッドだった)トホホで五味沢に向かい、浅草山荘のフィッシュハウスで車中泊する。懸念された積雪量は例年並だった。

10日 = 朝食を済ませ、今日頂上で合流する地元・小出、新潟県連の「みちぐさハイキングクラブ(注・「みちぐさ」ではない。確認のところ、新潟では「みちぐさ」と訛る)の磯部さんに携帯する。

今日はヘリスキーで新しく開拓された、洞窟温泉ルートを行くとの事で、我々も洞窟温泉に向かう。私が怪我復帰初山行なので、一足お先に出発する。丁度、駐車場にいたスキー・インストラクターのイイ男・佐藤さんも同行する。

林道をグングン上ると次第に視界が開け、背後に守門岳が大きく広がる。天気は快晴で小鳥のさえずりが賑やかだ。ここで、ひょっこり子どものカモシカにご対面。カトーが「カモちゃん、カモン」と訳の分からないことを、叫ぶがカモちゃんは、何処吹く風で、そくさと行ってしまった…。(当たり前?)

この上で地元の方、三名に追いつく。一人の方は長岡在住で65歳。つぼ足で頑張っていた。左手上方に前岳が見えた。ブナの少なくなり、気持ちの良い空間が広がる。前回、最高到達点の前岳を越えて浅草岳に着いた。まだ、10:30だ。無風快晴。「みちぐさ」さんとは11時の約束。時間があるので叶津コースを滑ろうかと上から覗くが、余りの緩斜面にガッカリ。真下に田野倉湖が広がり、北西に銀屏風が連なる。

「あれは何処」と聞くと、誰かが飯豊連峰と教えてくれた。なるほど、飯豊は近いのである。続々と後続が到着。そして11時を少し回った所で「みちぐさ」さんも到着。今回、何かとお世話になった「磯部さん」とご対面。ソフトな感じのいかにも山屋さんと言う感じの方だった。頂上ではもう旧知の仲のような交歓風景である。記念写真を撮り、少し下った所で昼食とあいなった。

さて、ここから滑降である。新潟勢にはプラブーツの方もいるし、ビンディングもジルブレッタの古いモデルの人もいる。年季が違うのである。真知子さんも「マチコ巻」でかっ飛ばす。私はまだ足が十分癒えてないので、やや控えめに滑ったが、新潟勢は「上手いのなんの」って感じ。それに、まあ、勝手知ったる所とは言え、飛ばすのなんのって、写真を撮る暇がない!

浅井さんに上ったり、下ったり超特別スペシャルコースを案内していただき、最後は洞窟温泉背後の35度斜面を楽しみこの充実したツアーを終えた。磯部さんを始め、新潟の皆さん、ありがとう!また、やりましょう!